

会 報

平成21年1月15日

てんりゅう



「竜神の舞」

毎年、10月最後の日曜日に「佐久間ダムまつり」が開催され、
竜神保存会の皆さんによって、ダムの繁栄と工事犠牲者の冥福を祈る
「竜神の舞」が披露されます。

会報てんりゅう 第93号

(社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053) 926-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山錠介 FAX (053) 925-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

年頭挨拶

社団法人天竜建設業協会

会長 長谷川智彦



新年明けましておめでとうございます。旧年中は厳しい環境の中、会員の皆様には協会活動への協力ありがとうございました。

さて、いよいよ2009年(平成二十一年)が始まりました。今年はどうなるのでしょうか。昨年、米国で金融危機に端を発した世界同時不況が津波となつて日本に押し寄せてくるなか、ただでさえここ数年の公共投資の削減、低価格受注の横行、資材・燃料の高騰等で疲弊しきっている建設業界はどのようになってしまうのか? あまりにも将来の展望が望めない現状に悩みは尽きません。この景気後退期がいつまで続くのか。3年いや最低5年10年掛かるとかいろいろな立場の人たちが言っております。私はこの期間に

大きく世の中のシステムが変わろうとするのではないかと感じています。大きなピンチがやってくると思いますが、「ピンチの中にチャンスあり」とも言います。足元を見つめ直して、挑戦していきたいと思っています。

また、昨年十二月一日に施行されました公益法人制度改正法により5年間の猶予期間の中で現在の社団法人から公益社団法人または一般社団法人への移行を迫られます。ただ単に法人格の変更だけでなくこの機会に今後の協会のあるべき姿、本間に必要な行動の洗い直し等を含め、もう一度「天竜建設業協会とは?」を会員皆様とともに考えていきたいと思います。そして、その成果によって「会員のため」、「地域のため」、「社会のため」に応えられる新しい協会の姿が作ればと願います。

今年こそ、会員企業が希望をもつて、厳しい難局に立ち向かつて、良い年になるよう祈念し、また、協会活動にご協力を願って、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく申し上げます。

浜松市長 鈴木康友



新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、政令指定都市・浜松の基盤を確立する重要な年であると位置づけ、都市の将来像である「市民協働で築く、未来へかがやく創造都市・浜松」の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。

一方、10月には、市民有志による「第二回やらまいかミュージックフェスティバル」が開催されるなど、行政だけではなく、まさに市民との協働により、元気な浜松の実現に向けて前進していることも、関係者並びに市民の皆さまのご理解とご協力の賜と、心から感謝を申し上げる次第であります。

私は、まちづくりの基本姿勢として、「こども第一主義」「くらし満足度向上計画」「07浜松改革元年」という3つの柱を掲げ、これらに向けた施策を確実に実行するために、4年間の実行スケジュールとして「マニフェスト工程表」

を公表し取り組みを進めているところです。

本年は、昨年にもまして本市が飛躍するための重要な年であり、市民、企業、行政が丸となつて、本市の発展や特色あるまちづくりに努めていくことが大切であると考えています。

世界の経済危機の影響による厳しい財政運営の中で、限られた資源を有効活用するため徹底した歳出の見直しを行うとともに、市民、市民活動団体、事業者などと連携・協力体制を構築し、市民がその効果を実感できる必要な事業への選択と集中を図ってまいります。

本年9月には「浜松モザイクカルチャー世界博2009」がはままつフラワーパークを会場に開催され、国内をはじめ世界各国からも多くの花と緑の造形作品が展示される予定です。浜松を世界に発信していく絶好の機会ととらえ、成功に向けて準備に邁進してまいりたいと考えています。

市民が夢と希望を持ち、活力あふれる「ひとりの浜松」を目指してまいりますので、市政への積極的な参加と、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



天竜区長 石塚猛裕

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

浜松市は、政令指定都市に移行して3年目を迎え「ひとつの浜松」による一体感のあるまちづくり、「市民協働で築く創造都市浜松」を目指しております。

こうした中、市の面積の約6割強を占める天竜区の道路は、国道152号を始めとする総延長約千七百十六キロメートルにも及んでおり、昨年は土木行政の大変さを痛感したところでありました。また、道路災害も多く、県道水窪森線での通行止めでは、地域の皆様に多大なご迷惑をお掛けしておりますが、今後とも災害に強い天竜区を目指して、本庁、区、土木整備事務所と建設業協会がより一層連携し、安全で安心な土木行政の基盤確立に取り組んでまいります。

国県市道整備はもちろんのこと、天

竜区には三遠南信自動車道(佐久間道路)建設、天竜川整備計画による天竜川ダム再編事業など大きな国家プロジェクト(夢)があります。

建設業界を取り巻く情勢は、大変厳しいものがあるかと存じますが「地域のため」をモットーとする天竜建設業協会の団結力にご期待申し上げ、新年のご挨拶といたします。



天竜土木整備事務所

所長 松本常志



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、浜松市は政令市となって2年目の年で、行政全般にわたり政令市として軌道に乗り、市民の皆様にご不便のないようサービスに努めている

ところであります。

また、世界では、オリンピックイヤーであり、世界中が活気に満ち溢れ、特に、日本選手団の活躍に日本中が一人丸となって応援し、選手にエールを送った年でもありました。また、野球界においても、学生野球や社会人野球また、プロ野球のリーグ戦、クライマックスシリーズや日本シリーズにおいて全国の野球ファンを魅了させました。

さて、今年は政令市の3年目となり、天竜土木整備事務所においては、手探り状態のところもありますが、市民の皆さんにとって手落ちのないサービスに全力で当たっていかねばと思っております。

土木整備事務所は、特に、道路橋梁河川の整備や維持管理を担当しているわけでありますが、道路橋梁はすでに整備から数十年経過しており、老朽化が進んでいます。また、以前から言われております、東海地震に対応する橋梁の耐震補強工事など、今後維持管理の必要箇所が山積しております。このような実態を把握し順次整備していかなければなりません。

また、天竜区の道路は、まだまだ見通しが悪く狭隘箇所が多く、通勤や物資の運搬に欠かすことができない道路整備は今後においても必要であり

ます。

特に、数年後に開通する第二東名に連結するアクセス道路や飛竜大橋から北側の国道152号のバイパス道路、三遠南信道路の早期完成、主要道路である国道362号、国道473号や県道、また、生活に密着している市道に至るまで整備が必要であります。

建設業協会の皆様には、道路特定財源の一般財源化など土木事業費が厳しい中、また、高度な土木技術力が求められる時代ではありますが、今後も、天竜区の道路河川の基盤整備は必要でありますので、皆様と一緒に住民サービスや福祉向上のために尽力いただければ幸いです。

平成21年が、皆様にとってよい年でありますことをご祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。



公益法人制度改革

(社)天竜建設業協会はどうか?

20.12.1 法律施行

↓
現在特例民法法人との
位置づけ

↓
下記①から④を選択し手続

25.11.30 移行期間満了

移行後の4形態

- ①公益社団法人
- ②一般社団法人
- ③解散
- ④法人類型の転換



ある演劇集団では公演が終
わると、女座長が「舞台は役
者だけではためですから」と言っ
て、音響、照明、受付の人た
ちまできちんと紹介します。
その一方けいこ場ではこの
気配り名人の女座長も、男の
座員のおしりを扇子でたく
ほどの厳しさを見せます。
けいこ場ではプロとしての
心と技を磨くために、お互い
に厳しくぶつかり合い、舞台
では主役、脇役、黒子がそれ
ぞれの役割を分担・協力しあい、
終われば「仲間がいてくれる
からこそ」と感謝する。なん

と清々しい集団でしょう。
舞台で花形役者が喝采を浴
びるということは、脇役や裏
方の目に見えない働きが、功
を奏しているのです。それが
ビタリと一つになって、はじ
めて立派な演劇になるのでし
ょう。
私たちの仕事も同様です。
目立つ仕事とそうでない仕事、
それぞれ役割が違うだけで、
どちらも尊さは変わりません。
お互いに相手の仕事を認め合い、
周囲の働きに支えられている
ことに感謝しながら働きたい
ものです。

Y・H

最近のキーワード

予約保証制度

中小企業庁は、将来の資金需
要に対して迅速な調達を支援す
る予約保証制度を創設、昨年11
月21日からスタートした。
同制度は、各地区の信用保証
協会や金融機関の審査を受けた
上、現状の融資が最大限枠の2
億8000万円に達していない
企業に対して、現状受けている
融資の分とは別に、将来の保証
付き融資として予約することが
できる制度。
通常の保証料率は、企業の財
務状況に応じて0.5〜2.2%程度に

設定されている。
しかし保証枠を使った実際の
借り入れがなされた場合は、
0.2%上乗せされる。
保証枠の上限は2000万円
で、予約時の手数料支払いは必
要ない。



かんとくさん



浜松市佐久間地域
自治センター
地域生活課
清水 一大

私は、平成20年4月浜松市役所に採用
され、佐久間地域自治センターに配属さ
れた1年目の土木技術職員です。主に佐
久間町管内の土木施設の維持修繕を担当
しています。
仕事は、道路や排水路の小規模な修繕

を担当することが多く、大規模な工事を
担当する機会はありません。
そんな中、今年度は1件の道路修繕工
事を担当させていただきました。先輩や上
司からのアドバイスをいただき、また、
監督者として必要な知識を現場や資料な
どから多く得ることができ、1件だけだ
けはあるものの、収穫の多い1年目になっ
たと思います。工事も無事完了し、少し
でも市民の皆様のお役に立てたと思うと、
やりがいを感じ、また同時に責任を強く
感じました。
まだまだ監督者としては未熟な部分が多々
あるとは思いますが、仕事を熱心になし、
得られるものは何でも吸収するくらいの
食欲な気持ちで、早く一人前の監督者に
なるよう努力してまいりますので、よろ
しくお願いします。

う。行いましょ
きちつと
の整備も
体制台帳
また施工
しよう。
ていきま
と揭示し
らきちつ
なにより安全への取組という観点か



私の安全パトロール日誌



— 工事現場に掲示すべき許可票等とは —

安全指導員 大嶋 秋夫

工事を適切に遂行していくには施工体制の確保が重要です。その為、工事現場には下表のような標識を基本的に掲示するようになっています。揭示場所など関係法令により表現の違いはありますが、写真のように揭示板に一括して掲示しているようです。しかしながら必要な揭示物を掲示していなかったり、揭示物の更新を怠っているケースも見受けられます。法令遵守、公衆や作業員への説明責任、

標 識 名 称	関 係 法 令 等	掲 示 場 所	標 識 寸 法
建設業の許可票	建設業法	公衆の見やすい場所	40cm×40cm以上
施工体系図	同上及び入契適化法	工事関係者及び公衆が見やすい場所	見やすい大きさ
労災保険関係成立票	労働保険徴収法	見やすい場所	40cm×50cm
建退共通用事業主シール	建設経済局長通知	建設現場	—
有資格者一覧票	労働安全衛生規則	作業場の見やすい場所又は必要な箇所	規定なし
緊急時連絡表	現場実務の手引き	事務所・詰所の見やすい場所	規定なし
再下請通知書の提出案内	建設業法	建設現場	規定なし
工事現場の確認表示	建築基準法	工事現場の見やすい場所	—
道路占用許可標識	道路法	工事を行う場所	—

静岡県土木部資料から抜粋

建設ギャラリー

工事名称 葵沢復旧治山工事
工事場所 浜松市天竜区水窪町地頭方国有林地内
発注者 関東森林管理局 天竜森林管理署
施工業者 有限会社 飯島建設
工事概要 (2工区)

練石積土留工 430m² マット伏工 2300m²
特殊モルタル吹付工 530m² 丸太筋工 260m



現場は、水窪町中心部から30km程入った標高1400mの山間部である。

昔は、何処にでも見られた石積が最近ではコンクリート製品に変わってきました。本工事では、玉石・木材を主に使用し、環境に優しい治山工事です。

山奥から地球温暖化防止への取組みです。

お宝発見

シリーズ第6回 花巻のカヤ
森吉組吉田 巧

浜松市天竜区春野町花島の、下沢さん宅には、大きなカヤの木があります。上下約二十メートル離れて二本あり、春野町名木百選、町指定天然記念物に指定されています。上のカヤは根回り4.6メートル、下のカヤは5.0メートルで、樹齢は何れも不明と言うことですが、約四百年ほどではないかといわれています。カヤの木は、材質が緻密で耐久性が高く、碁盤や将棋盤の最高級品として珍重されています。また実は搾って灯油や食油として活用されています。下沢さんも昔はこの二本のカヤから八俵の実をとり、油を売っていたそうです。地球環境汚染が、緊急の課題となつている今こそ、森林や樹木を大切に、後世に残して欲しいと思います。



My Family



『子どもから教わること』
天竜区役所 総務企画課
曲淵 正悟

長男 稜真(りょうま)を紹介しました。
3月で2歳になる稜真は、何事にも好奇心旺盛で、常に何か新しいことを探しています。
最近のお気に入りには自動車のようで、消防署に置いてある消防車や救急車を見かけると、ウーとかピーポーと言いつつ指をさして喜びます。そうかと思うと、近づいても怖がつて触れなかったりして、この辺は親と同じで小心者だなあと思う時があります。

また最近、親や家族の言動を真似ることが多くなりました。
よく、子どもは親を見て育つといわれますが、子どもが真似しても恥ずかしくないよう、親が食べ物の好き嫌いをしないとか、生活態度を改めなきゃと思つているのですが、これがなかなか難しい・・・
子どもから教わることはたくさんあります。これからの子どもたちの将来のため、天竜区の明るい未来のために、私たち大人には何ができるか、ふと考えるきっかけになります。



天竜郵便局
中村由宇紀さん

天竜郵便局で働き始めてから三年が経とうとしています。
始めのころは、右も左もわからず、すべてのことに四苦八苦し、お客様との対応もうまくいかず、周りの方々に迷惑ばかりかけていました。

昨年の十月の民営化という大きな出来事も無事に乗り越えることができた、今まで以上に仕事をさせて頂いています。
今では、だいたひ地域の中にとけ込めたかと思ひます。お客様や職場の方々にここまで大きくさせて頂いた事にこれからは恩返ししていきたいと思ひます。
これからも地域の皆様に気軽に郵便局をご利用して頂ける様、なお一層努力していきますので、よろしくお願ひします。